

視聴覚資料の洗浄キット

文化財防災ハンドブックー被災視聴覚資料の基礎と応急処置ー 参考資料

監修：鈴木伸和（株式会社東京光音／映画保存協会）

作成者：文化財防災センター／作成日：2025年3月28日

基本用具

	用具名称	備考
1	ゴム手袋	ニトリルゴム、パウダーフリーのもの。
2	マスク	防塵、または通常のものでも可。
3	メガネ/ゴーグル	目の保護として。
4	筆記用具	メモを取るため（紙、鉛筆、油性マジック等）。
5	タオル	資料や作業台を拭くため。
6	デジタルカメラ	資料の状態を記録するため。
7	エプロン/防護服	カビ/汚れの付着を防ぐため。
8	除湿器/サーキュレーター	資料を乾燥させるため。電気が無ければ団扇でも良い。
9	定規/巻尺	資料の直径を測るため。また、補修用テープを切るため。15cm以上。
10	バット/桶	洗浄のため。縦20cm x 横30cm x 深さ10cm以上。
11	歯ブラシ	洗浄のため。乳児用など小さい物が良い。
12	筆	洗浄のため。
13	カメラ用ブローア	資料に付着した細かい汚れなどを除去するため。
14	ルーペ	資料を細かく観察するため。
15	マイクロファイバーなどの柔らかい布	映画フィルムや磁気テープの表面を拭くため。 例：【商品名】エツミ CleanPix マイクロファイバーSサイズ[20x20cm]
16	マスキングテープ	資料のナンバリングや、メモ書きとして。また補修の際の補助として。
17	カッターマット	資料を手拭きしたり補修するため。
18	カッター	資料の補修のため。
19	ピンセット	資料の補修のため。

映画フィルム用

	用具名称	備考
20	ビニール紐	映画フィルムを干すため。
21	ゼムクリップ	映画フィルムのパーフォレーションにひっかけて干すため。
22	補修用テープ（映画フィルム用）	映画フィルムを補修するため。 例：【商品名】Christy's Clear Guillotine Splicing Tape
23	和ばさみ	フィルム補修のため。
24	フィルム用水切り剤	水洗後のフィルムに水滴ムラを予防するため。 例：【商品名】富士フィルム ドライウェル 200cc
25	フィルム缶	映画フィルムを適切な包材で保管するため。 ポリプロピレン、スチール、中性紙など各種素材が販売されている。
26	コア	映画フィルムを適切に巻き取り、保管するため。 例：【商品名】コダックフィルムコア（白）
27	リーダー	映画フィルムを適切に巻き取り、保管するため。 例：【商品名】コダック ブルー ポリエステル リーダー

ビデオテープ用

	用具名称	備考
28	プラスドライバー(#0 or #00)	ビデオテープを分解するため。
29	星形ドライバー	ビデオテープを分解するため。
30	ラジオペンチ	ビデオテープを分解するため。
31	マイナスドライバー	ビデオテープを分解するため。
32	電動ドリル	ビデオテープを分解するため。
33	精製水	磁気テープ表面を洗浄するため。無ければ水道水でも簡易洗浄は可能。